

# 令和 2 年度事業報告書 — あじさい園居宅介護支援事業所 —

テーマ：自立した生活が送れるように、より良いチームケアの提供と地域支援体制の強化を図る

サブテーマ：様々な地域課題に対して在宅の限界点の向上を図ることを目的として、在宅サービスを推進するための地域資源の把握・活用に努める

## 1. 本人、家族が安心して生活できるようにする（独居、高齢者夫婦、認知症、障害、困難事例など）

- ① コロナウイルス感染予防対策のため、カンファレンスの開催が難しくなり、事前のアセスメントと情報収集が重視されるようになった。要点を確認し自立支援に繋げる事ができた。
- ② コロナ対応緊急事態宣言の発令等により、各サービスの受け入れ態勢に困難な状況が続き、家族の協力を得ながら必要最低限の対応が続いたものの、その間の ADL および病状悪化等の相談に丁寧に応じた。そのためサービス開始後のスムーズな連携を図る事ができた。
- ③ 従来以上にメールの活用をしたことで、家族支援の強化、業務の効率化を促進できた。

## 2. 医療、介護、障害、福祉サービスの連携強化を図る

- ① 受診同行の機会は少なくなったが、地域連携室などを通して情報交換を補う事ができた。
- ② 多職種連携にて情報を収集し、主治医との連携もメールや電話対応で実施できた。
- ③ 退院カンファレンスの機会が減少し、電話だけの情報で退院するケースが増えた。しかし、退院後にはできるだけ早く居宅を訪問し、自宅での生活に支障がないか確認を行うなどフォローができた。

## 3. 研修会へ定期的に参加し、質の向上を目指す

- ① コロナウイルス感染予防のため、研修は中止になる事が多かったが、徐々に web での開催が増え参加できるようになった。他事業所間での情報共有もしっかり行い、令和 3 年度からの改定等にも、各自対応できるように事業所内での周知が行えた。